

FMEA/FTA/DRBFM(不具合未然防止)の基本と実践

◆日時: 2025年12月19日(金) 10:00~17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 元:三菱電機 理学博士 太田 洋一朗 氏

品質不具合を起こすようでは、ISO9001が目指す「顧客満足向上」に程遠く、さらには企業の存続にかかわる恐れまであります。そうならないためには「不具合未然防止」、すなわち不良発生への「予防処置」が必要です。ところが、日常は目の前の仕事に追われ、「未然防止はいずれ時間ができたときにやればいい」となっていないませんか？今こそ、積極的に取り組むべきです。

本講座では「不具合未然防止」に有効な手法の基本を学び、実践演習で使い方のポイントを理解し、実務での活用を目指します。

1. 不具合未然防止概要

1-1 恒久/再発防止/未然防止処置の違い

1-2 各手法の役割と進め方の違い

2. FTAの基本と事例

2-1 FTAの基礎と発生確率の算出

2-2 FTAを使った、「対策の優先度」の考え方

2-3 FTAの具体的事例

3. FMEAの基本と設計FMEA

3-1 FMEAの考え方

3-2 ワークシート作成上の留意点

3-3 設計FMEAの具体的事例

4. 設計FMEAの実践演習

5. 工程FMEAの基本と事例

5-1 工程FMEAの基本

5-2 工程FMEAの具体的事例

5-3 設備予防保全への応用事例

6. DRBFMの基本と設計DRBFM

6-1 DRBFMの考え方

6-2 ワークシート作成上の留意点

6-3 FMEAとの比較

6-4 変更点・変化点の見える化

6-5 設計DRBFMの具体的事例

7. 設計DRBFMの実践演習

8. 工程DRBFMの基本と事例

8-1 工程の変更・変化への対応

8-2 工程DRBFMの具体的事例

9. まとめ

9-1 各手法を使う上での留意点

9-2 不具合未然防止に対する体制

9-3 各手法の使い分け

9-4 各部門の役割と効果的な実践

9-5 作成したワークシートの活用

『FMEA【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>